

特定非営利活動法人やまびこクラブ

1 事業の成果

今年度のこども発達支援事業所さくら（児童発達支援事業）は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり、感染拡大に留意しながらも、コロナ禍以前の体制に戻すための職員の意識の統一が大切な1年となりました。流行前と同じようにすることへの異論もあつたりして、感染症対策も含め、どのように共存していくのかを考えさせられました。

そんな状況でも、今年度も一名の卒園児を送り出すことができました。インクルーシブ保育やインクルーシブ教育が叫ばれて久しい社会情勢ですが、インクルージョンの理念や思想は理解してもどうすればいいのか、何をしなければいけないのか等の支援内容が十分に議論されていないのが現状です。さくらから送り出しても何かを諦めざるをえなかつたり、我慢を強いられたりして、子どもや保護者から相談を受けることも少なくありません。子どもの成長の中で、とても重要で、大切な時期なだけにこれから児童発達支援事業の役割も変容させていかなければと考えます。

放課後デイサービスさくら（放課後等デイサービス事業）の今年度の取り組みは、特に変わりませんが、毎年新しく利用希望の新入児が2～3名ほど増えている。そのために、放課後等デイサービス、児童クラブ、地域活動支援事業等の選択肢を保護者に示し、選択してもらったりして、対象児童の現状でどのようなサービスが必要かと一緒に考えたりしました。事業の運営もさることながら、利用児童や保護者にとってのベストを選択することが重要と思います。

また、アフターコロナの放課後デイの在り方を考え、個々の訓練、小集団での活動を織り交ぜながら内容の充実を図った。コロナ禍の弊害として、集団活動がやりにくい環境や雰囲気があつたが、療育や訓練の意義をみんなで考え、小集団の活動から始めました。

地域活動支援センター事業は、重度障がいのある方や家に引きこもっていた精神疾患の方、多くの事業所に行つたけど不適切な言動で続けることができなかつた方など多様なニーズを持ち合わせている利用者が多い現状があります。余暇的な或いは、趣味的なことをしながら、日中活動を充実させていこうと考えての開設でしたが、利用する方々は、働きたいと意思を示す人が多く、就労支援をメインに活動することになりました。

働くことで認められることもあるし、他人から評価をしてもらえるのは、やはり労働なんだと再確認することができました。重複障がいの方でもクッキー作りの一員となり、毎日元気に通ってくれている姿を見ると障がいの重い軽いで単純に判断するのではなく、それぞれの意思を確認できるコミュニケーション力と感性を持ち合わせておきたいものです。

児童館及び児童クラブ事業では、コロナ感染症の位置づけが5類感染となりましたが、消毒や手洗いの慣行等を徹底しながら、児童館及び児童クラブの運営を行ってきました。児童館活動としては、例年と変わらない内容でしたが、徐々に参加者も増えてきたように感じます。児童クラブに関しては、両親が働いている家庭はもちろん、子育て支援の充実といった施策の一環で10月から育成料の無償化も実施されることになり、すべての家庭で利用しやすい状況になったが、特段利用児童数が増えることもなく、健全な児童クラブの利用となっている。

津久見市は、少子高齢化の傾向は県内でも顕著であり、人口減少対策としての子育て支援策の充実は必要ではあるが、むやみに無償だからみんなが利用しようというわけではなく、必要な人が必要な分だけ利用していることがわかり、とても健全なサービスの在り方と考えました。今後も他の社会資源とうまく融合させていくことがとても重要と考えます。

地域貢献活動としては、コロナ後の活動として、市内で活動するなんとか会が日本文理大学と協働で津久見市で福祉映画祭を開催しました。その実行委員会等の運営及び開催のための支援を行う。まだまだ、広報及び周知が行き届かずと思ふような参加者を募ることができなかつたことが大きな反省点である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実 施日時 (B) 当該事業の実 施場所 (C) 従業者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金 額(単位： 千円)
障害者総合支援法 に基づく障害福祉 サービス事業	児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業 障がいのある子どもへの療 育の提供及び保護者に対し て子育て支援 共同生活援助事業 障がいのある人の地域生活 の 地域生活支援事業 地域活動支援センターを開 設し、利用者の日中活動支 援や学習支援及び就労支援 など利用者のニーズに基づ いて活動する。	(A) 4月1日から 翌年3月31日まで 開設 (B) ・こども発達 支援事業 主たる事務所に併設 している療育施設 ・共同生活援助事業 (グループホーム桜 ヶ瀬) 地域生活支援事業 地域活動支援センタ ーばかりと (C) 32名	(D) 津久見 市、臼杵市、佐 伯市に居住する 当該施設に通所 する児童と家族 (E) 発達支援 事業及び放課後 デイサービス事 業に登録してい る方 28名 年間延べ人数 2,405名 地域生活支援事 業 契約利用 者 16名	69,447
児童館、放課後児 童健全育成事業	子育て支援している団体や サークル等への支援及び青 江小学校に通う子どもの放 課後及び長期休暇中にお預 かりし、健全な育成活動を 行う。	(A) 4月1日から 翌年3月31日まで 開設 (B) 主たる事務所 に併設している児童 クラブ (C) 6名	(D) 育児サー クルの会員及び 児童クラブに登 録している児童 と家族 (E) 利用者延 べ人数 11,894 名	11,488
母親クラブ	子育てをしている仲間で相 互の悩みや相談活動及び交 流活動を行う。	実施していません。		—
障害者の地域への 参画促進と障害に 関する啓発活動	福祉映画祭を開催し障がい のある方の地域での生活に 必要な支援や地域の資源を 考えるフォーラムと映画上 映等の支援。	(A) 11月1 8, 19日 (B) 津久見市民 会館 (C) 実行委員会 12名	(D) 市内外 の障が いのあ る方及 び保護 者と関 係する 方	0

			(E) 200 名	
--	--	--	-----------	--

程

令和5年度 活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人やまびこクラブ
(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1 受取会費 入会金収入	18,000	18,000
2 受取助成金等 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業収入	69,447,466	
放課後児童健全育成事業収入	11,488,000	
その他補助金	236,713	81,172,179
3 負担金収入 利用者負担金収入	6,024,509	6,024,509
4 事業収益 事業収益	8,743,111	8,743,111
5 寄付金収入 寄付金収入	10,000	10,000
6 その他収益 受取利息	217	217
経常収益計		95,968,016
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費 給料手当	64,017,429	
臨時雇賃金	292,935	
法定福利費	6,208,379	
人件費計	70,518,743	
(2) その他経費 旅費交通費	14,060	
通信運搬費	6,988,031	
消耗什器備品費	779,100	
消耗品費	2,102,248	
修繕費	337,614	
印刷製本費	184,207	
水道光熱費	2,220,819	
賃借料	7,253,584	
保険料	285,900	
租税公課	69,100	
教材費	704,853	
行事費	210,304	
給食材料費	6,668,173	
雑費	607,298	
その他経費計	28,425,291	
事業費計		98,944,034
2 管理費		
(1) 人件費 福利厚生費	245,968	
人件費計	245,968	
(2) その他経費 通信運搬費	727,332	
消耗品費	5,091	
修繕費	251,610	
賃借料	1,344,000	
保険料	839,822	
租税公課	20,000	
諸会費	237,000	
支払利息	356,058	
雑費	1,470,612	
その他経費計	5,251,525	
管理費計		5,497,493
経常費用計		104,441,527
当期経常増減額		▲ 8,473,511

令和5年度 活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人やまびこクラブ
(単位:円)

科目	金額		
III その他資金収入			0
その他資金収入計			
IV その他資金支出			
1 短期借入金返済支出	5,000,000		
2 長期借入金返済支出	4,008,000	9,008,000	
その他資金支出計			9,008,000
V 経常外収益			0
経常外収益計			
VI 経常外費用			0
経常外費用計			
当期收支差額			▲ 17,481,511
前期繰越収支差額			25,222,312
次期繰越収支差額			7,740,801
V 資産増加額			
1 当期收支差額	▲ 17,481,511		
2 什器備品購入額		▲ 17,481,511	
資産増加額計			▲ 17,481,511
VI 負債減少額			
1 短期借入金返済額	5,000,000		
2 長期借入金返済額	4,008,000	9,008,000	
資産増加額計			9,008,000
増加額合計			▲ 8,473,511
VII 資産減少額			0
資産減少額計			
VIII 負債増加額			0
負債増加額計			
減少額合計			0
当期正味財産増減額			▲ 8,473,511
前期繰越正味財産額			27,042,503
次期繰越正味財産額			18,568,992

令和5年度 貸借対照表

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人やまびこクラブ
(単位:円)

科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	15,109,037
未収金	19,337,269
前払金	100,000
立替金	329,898
仮払金	0
流動資産合計	34,876,204
2 固定資産	
(1) 有形固定資産	
車両運搬具	4,206,820
什器備品	4,330,624
有形固定資産計	8,537,444
固定資産合計	8,537,444
資産合計	43,413,648
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	7,046,854
預り金	1,095,802
流動負債合計	8,142,656
2 固定負債	
長期借入金	16,702,000
固定負債合計	16,702,000
負債合計	24,844,656
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	27,042,503
当期正味財産増減額	▲ 8,473,511
正味財産合計	18,568,992
負債及び正味財産合計	43,413,648

令和5年度 財産目録

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人やまびこクラブ
(単位:円)

科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
手元現金	254,366
大分銀行普通預金	14,673,022
九州労働金庫普通預金	181,649
未収金	
未収金	19,337,269
前払金	
前払金	100,000
立替金	
立替金	329,898
流動資産合計	<u>34,876,204</u>
2 固定資産	
(1) 有形固定資産	
車両運搬具	4,206,820
什器備品	
ジョイントコーナーマット	280,000
ガスオーブンレンジ	261,724
ノートパソコン	137,300
テラステント	399,600
机・椅子等	302,000
農機具一式	2,950,000
有形固定資産合計	<u>8,537,444</u>
固定資産合計	<u>8,537,444</u>
資産合計	<u>43,413,648</u>
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	
給料手当等	4,149,157
その他諸経費	2,897,697
預り金	
源泉所得税預り金	318,612
市県民税預り金	243,700
従業員預り金	533,490
流動負債合計	<u>8,142,656</u>
2 固定負債	
長期借入金	
大分銀行借入金	12,652,000
個人借入金	4,050,000
固定負債合計	<u>16,702,000</u>
負債合計	<u>24,844,656</u>
正味財産	<u>18,568,992</u>